

南丹市立幼稚園・保育所の在り方について

～園部幼稚園の今後の在り方～

令和5年7月 子育て支援課

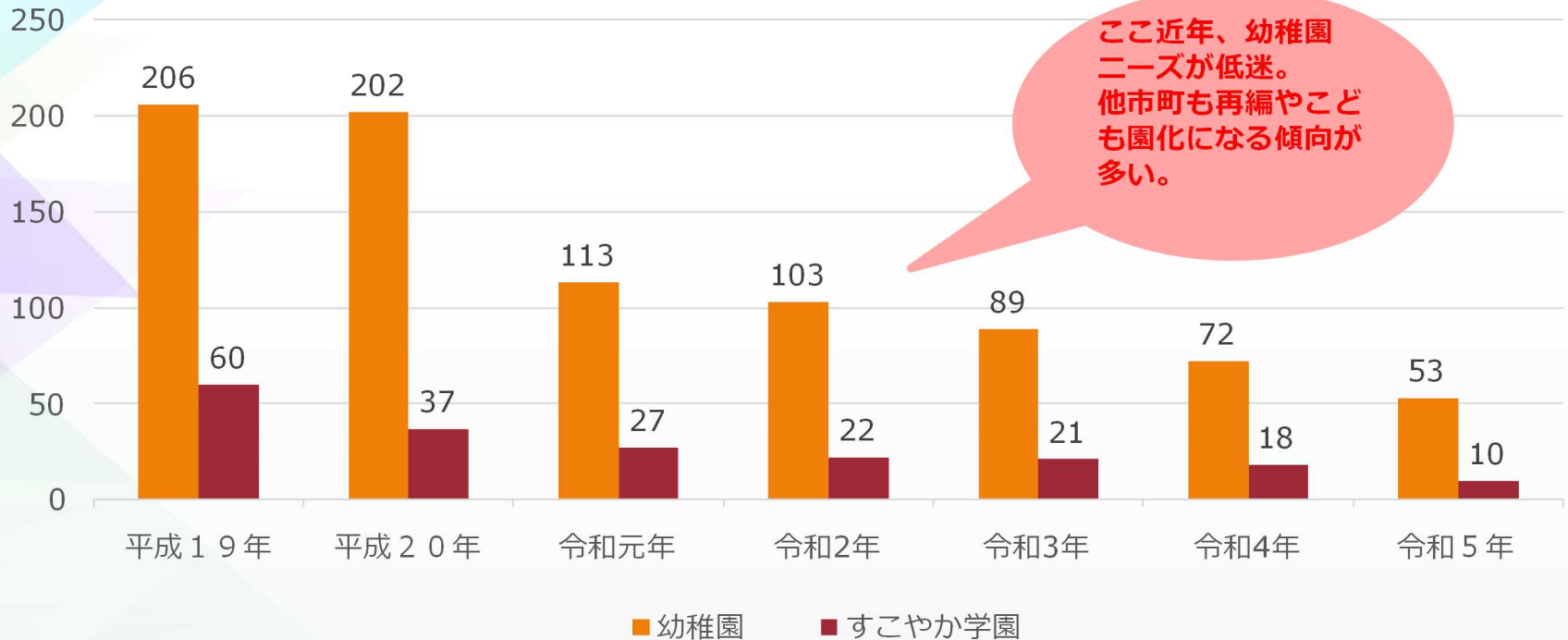
園部幼稚園の園児数減少経緯

資料 2

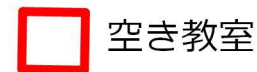
※（預かり保育利用数／2号認定 月利用 ）

	園部幼稚園	すこやか学園
平成19年度	206	60
平成20年度	202	37
令和元年度	113 (39 / 10)	27
令和2年度	103 (24 / 12)	22
令和3年度	89 (25 / 10)	21
令和4年度	72 (20 / 10)	18
令和5年度	53 (14 / 8)	10

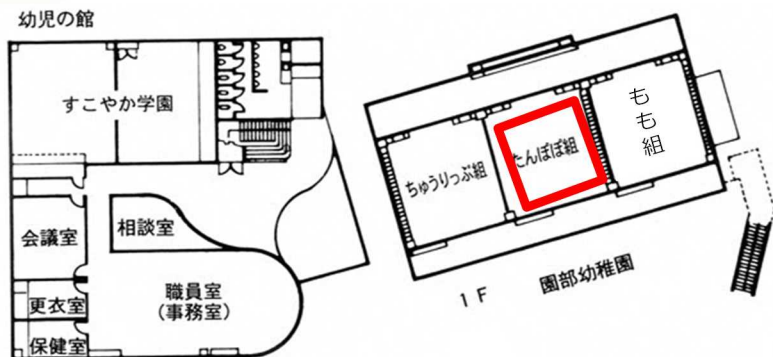
園部幼稚園の園児数減少経緯



R5 空き教室状況



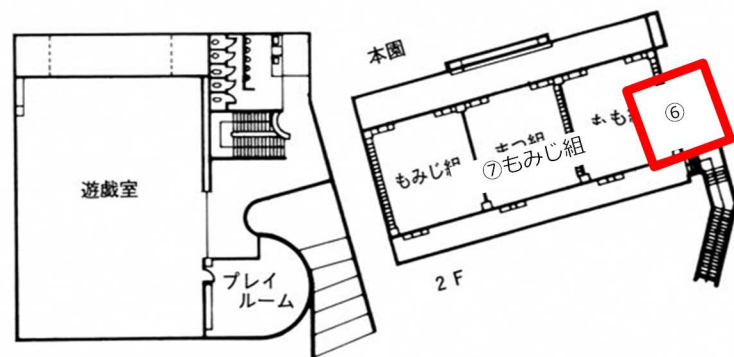
< 1階 >



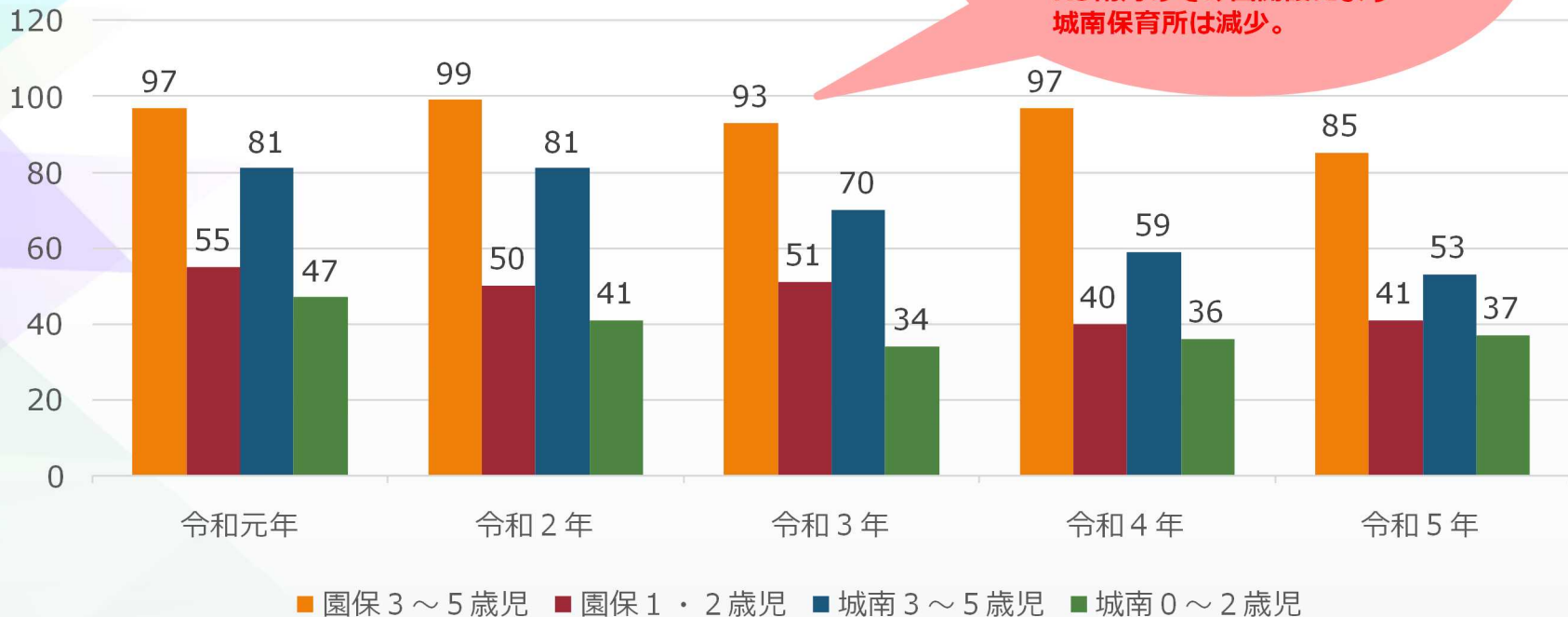
- ①たんぼぼ組→フリースペース
ランチルームとして活用
- ②もも組 (4歳児・22名)
- ③ちゅうりっぷ組 (3歳児・14名)
- ④ひまわり教室 (預かり保育)
- ⑤すこやか学園 (10組親子)

< 2階 >

- ⑥フリースペース
- ⑦もみじ組 (5歳児・17名) 2教室活用



園部保育所・城南保育所児童数推移



認定こども園化のメリットとデメリット

① 幼児教育の推進...保育の質

② 公立園の役割

- 支援を要する子どもへの支援（特別支援）
- 家庭支援を要する子どもへの支援
外国籍や要対協対象の家庭支援
- 就労保護者の支援
保育時間・期間の拡大、早朝延長保育の活用
保護者の就労状況が変化しても同じ園で過ごせる
- 子育て支援
すこやか学園...親子の通園の場
園庭開放や相談窓口の充実

③ 教育施設としての充実

(園庭、芝生園庭、遊戯室、プール等)

④ 空き教室の活用

⑤ 食育（給食の実施）

⑥ 園バス維持費・委託料削減

⑦ 財政削減・人材スリム化

- ① 幼稚園と保育所との生活の流れ
環境の違いから園児も保護者も
戸惑いが想定される。
- ② 幼稚園は園バスを縮小、または
廃止により、保護者の送迎負担
が増える。
- ③ 駐車場が少ない。

保育再編検討と民間保育施設誘致経過

資料6

R元年 園部地域・小山東町区 民間誘致公募...社会福祉法人 京都ルーテル会決定

R2年 民間園、設計・工事

R3年 4月南丹のぞみ園開園（定員150名）
南丹市保育所再編PT（美山地域の在り方）

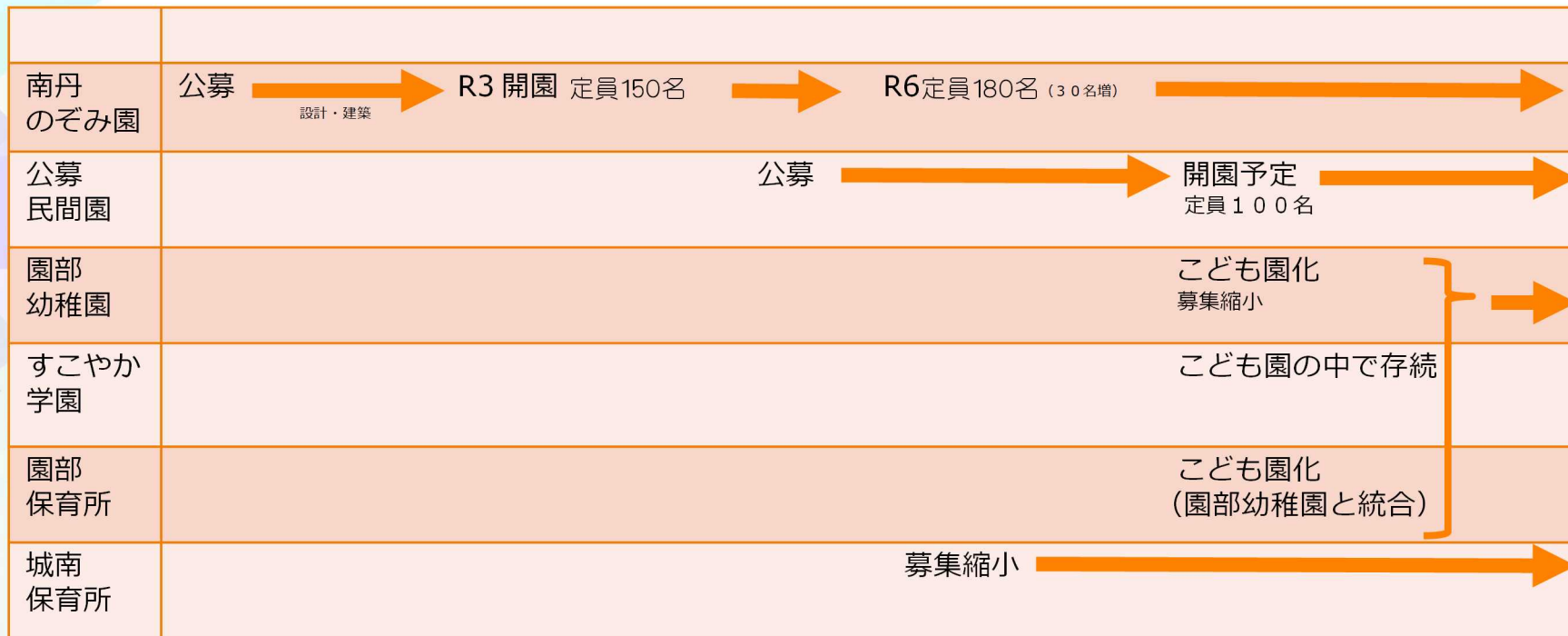
R4年 南丹市保育所再編PT（美山地域の在り方）
みやま保育所→みやまこども園へ、日吉中央保育所→ひよしこども園へ

R5年 知井振興会の託児事業開始
南丹市保育所再編PT（南丹市内保育施設の在り方）
知井保育所→みやまこども園・知井分園へ、知井振興会の託児事業

園部地域、新たに民間誘致公募予定

園部地域再編イメージ

資料 7



子ども未来戦略方針

～今後3年間の集中的な取り組みの具体的な施策として～

● 保育の質の向上

● 保育士配置基準、改善へ

1歳児...6人に対して1人保育士



5人に対し1人保育士に変更

4～5歳児...30人に対し1人保育士



25人に対して1人保育士に変更

● 0～2歳児

親の就労要件にかかわらず、毎月一定枠で時間単位で利用できる通園給付
「子ども誰でも通園制度」 (仮称)